

令和5年3月22日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和5年2月分

～令和5年2月 データから見た業界の動き～

令和5年3月22日 発表

激化する価格競争、仕事量の減少との物価高の二重苦
事業継続への危機感感じる事業者が増加



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

～令和5年2月 データから見た業界の動き～

令和5年3月22日 発表

激化する価格競争、仕事量の減少との物価高の二重苦 事業継続への危機感感じる事業者が増加

■ 概 況

2月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 +2ポイント（前年同月比±0ポイント）

収益状況 ▲18ポイント（前年同月比12ポイント↑）

景況感 ▲12ポイント（前年同月比10ポイント↑）となり、

売上高のD.I値は前年同月と同ポイントとなったが、収益状況・景況感は前年を上回った。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲10ポイント（前年同月比 25ポイント↓）

収益状況 ▲25ポイント（前年同月比 10ポイント↑）

景況感 ▲20ポイント（前年同月比 5ポイント↓）となった。

収益状況のD.I値は前年同月の数値を上回ったが、売上高・景況感は前年同月を下回った。

織物業では、原材料の納入遅延の影響を受け設備の稼働状況が低下、一般機械（業務用・生産機械器具製造業）では諸資材の価格高騰によって消費者の需要が減少するとの見方から製造機械装置などの設備投資が減少傾向にあり、受注が減っている。また、先行きの見通しが立たずしばらくはこの状況が続くと予測している。

非製造業では…

売上高 +10ポイント（前年同月比 17ポイント↑）

収益状況 ▲13ポイント（前年同月比 14ポイント↑）

景況感 ▲7ポイント（前年同月比 20ポイント↑）となり、

すべてのD.I値が前年同月の数値を上回った。

新型コロナウイルス感染者の減少によって、人流の増加、消費活動の活発化を期待する声が小売業を中心に聞かれた。

一方で骨材製造業では「稼働を増やせば赤字も増える」と適正価格の交渉を続けているが突破口は開けない状況である。また、建設業、宿泊・サービス、運輸業などほとんどの業種で人材の不足が報告されており、事業の継続を危惧する声も聞かれた。

原材料費や電気料金をはじめとする様々なものの高騰が続き、各調査員からは転嫁が思うように進まないとする悲痛なコメントが目につく。

中小企業者の立場は未だに弱く、特に自ら製品価格を決めることができない下請業者は需要者たる発注者の仕事量にも影響を受けやすく、売上の低下と収益の低下の二重苦に頭を痛めている。

■ 調査員からの国等への要望・コメント **ピックアップ!**

仕事量の減少が続く機械器具製造や機械部品加工業などでは、「価格競争」の激化が報告されている。

「原材料の高騰分を見積価格に計上したいが、競争に負けると仕事量が確保できないため、思うように転嫁できないのが実態である。（電気機械部品加工業）」

国の「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」では、労務費や原材料費、エネルギーコストなどの上昇に対応するため、適切な契約金額の設定、契約後においても契約変更に応じるなどの規定を盛り込んでいる。

一般にも普及、周知を求める声も情報連絡員からあるが、特に県・市町村の工事や物品・役務においては率先して取り組まれるよう中央会からも要望するところである。

業界からのコメント

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	原材料・電力・燃料価格の高騰により収益の確保が困難な状況が続いているが、コロナ規制緩和で経済活動が活発化してきたと感じている。業務用商品、ギフト関連商品ともに売上は堅調に推移しており、前年同月と比べ201%となった。
食料品 (洋菓子製造業)	店舗拡大効果により、前年同月と比べ売上117%となった。
食料品 (麺類製造)	インボイス制度への対応を進めているが組合員には高齢者も多く、制度導入後、滞りなく対応できるかどうか懸念している。
食料品 (パン・菓子製造業)	原材料、包材、光熱費、電力価格の高騰に対応するため、商品の内容量を減量したが、収益の確保が困難な状況が続いている。3月以降は商品の販売価格の改定や利益が出る商品を企画する。
食料品 (酒類製造業)	ワイン業界は、飲食店の活気が戻らない限り厳しい状況は変わらないと考える。コロナ禍の終息が見える中、今春からの飲食店の客足の増加に期待している。
繊維・同製品 (織物)	インテリア部門▶ホテル用高級カーテンの受注量が多い。 傘地部門▶前月から続く注文を生産している状況。新製品についても検討中である。 ネクタイ部門▶イベント用ネクタイの生産に力を入れているが、OEMの生産については様子見である。 裏地部門▶原糸の納入が遅れており、織機の稼働状況があまり芳しくない。3月以降は原材料価格の上昇分を製品価格に転嫁していきたいと考えている。
繊維・同製品 (織物)	売上げ・収益状況ともに前年同月と比べ若干回復しているものの、原材料価格の高騰や電力価格の値上げラッシュによって、今後の業界の先行きは暗い。 行動制限が解除されたこともあり、今後はさらに人流が回復し経済活動が活発化することを期待している。
木材・木製品製造	人材を募集しているが応募がなく、人手不足の状況が続いている。
窯業・土石 (砂利)	骨材単価の上昇により売上げは増加しているものの、燃料・電力・資材などの価格高騰により収益の確保が困難な状況が続いている。
窯業・土石 (山砕石)	あらゆるモノの価格（特に電力、燃料、運搬費）が上昇している。製品単価を上げるよう交渉を行っているが、転嫁しきれず、稼働を増やすと赤字も増加する状況である。前年同月と比べ売上げ▲13%、収益状況▲17%となった。 取引先との交渉を粘り強く重ね、赤字を脱却できるような単価アップを勝ち取らなければ、組合員は今後の事業継続も危うい状況に陥ると考えている。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	電気・燃料・原材料価格の高騰と半導体不足が続いていることに加え、自動車関連の受注量も減少しており、売上げ・収益の確保ともに厳しい状況が続いている。

<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>受注量の減少と原材料価格の高騰が続いており、前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲15%となった。業界全体として今後の見通しは暗く、どうすれば明るい未来が見えるのか見当がつかない。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>2月に入り製品価格の一部に原材料価格の高騰分を転嫁することができ、前年同月と比べ売上げ9%増加、収益状況も若干好転した。 しかし、1月に引き続き受注量が大きく減少しているため、今後も厳しい状況が続くことを予測している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは20%増加、収益状況は10%好転した。昨年中は、半導体不足による見積もり・受注量の減少に悩まされていたが、2月に入り納期の遅延が解消され再見積もりの依頼が増加している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>自動車業界、電気機械器具製造業界への半導体不足の影響が尋常でなく、新規の見積もり案件がほとんど無く、受注した案件も突然キャンセルされるといった事案が発生している。また、少ない見積もり案件に対して価格競争が激化しており、この状況がいつまで続くのか不安である。 当初は2023年の夏頃には半導体不足が解消されると言われていたが、ここにきて来年になるとの情報もあり、当分は厳しい状況が続くことを予測している。</p>
<p>宝飾 (研磨)</p>	<p>高額商品の取引状況が悪く、前年同月比べ売上げ▲30%、収益状況▲15%となった。3月の展示会は県内からも多くの企業が出展する予定のため、盛り上がりを期待している。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (自動車中古部品)</p>	<p>新車納入の遅れにより廃車の発生台数が少なく、前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲30%となった。例年3月は廃車の発生台数が一年間で最も多い時期であるが、レアメタルの売却価格の相場も下がっており、今後の動きを注視している。</p>
<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>渡航制限が緩和されたことでジュエリーの取引状況が回復傾向であり、前年同月と比べ売上げは10%の増加、収益状況も5%好転した。 コロナ禍で延期・中止となっていた展示会や見本市が開催されるようになり、3年ぶりに3月に香港で開催される展示会には、県内からも多くの企業が出展する予定である。今後はさらに人流が回復し経済活動が活発化することを期待している。 製造現場の仕事量も少しずつ回復しており、新製品の開発も進んでいる。</p>
<p>小売 (青果)</p>	<p>地場産の野菜の入荷が極めて少なく、前年同月と比べ売上げ▲10%、収益状況▲5%となった。 コロナ規制が緩和され、経済活動が活性化してきているので、今後は飲食店・宿泊施設の客足が増加し、野菜・果物の販売量も増加することを期待している。</p>
<p>小売 (食肉)</p>	<p>宿泊施設の客足は回復しており食肉の販売量も増加傾向であるが、飲食店では団体客（歓送迎会など）が少なく、売上げが伸び悩んでいる。 ゴールデンウィーク後からコロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行するため、宿泊施設・飲食店ともに客足が増加することを期待している。</p>
<p>小売 (水産物)</p>	<p>組合員は冷蔵庫、冷凍庫を多く所有しているため、暖かくなるにつれて増加する電力価格が収益をさらに圧迫することを懸念している。</p>

<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>商品価格の値上げにより前年同月と比べ売上げは2%増加したが、冷蔵庫の販売台数が伸び悩んでおり、収益状況は前年同月と比べ▲5%となった。 電力などのインフラに係る価格の上昇に加え、3月以降は省エネ機器の購入キャンペーンを実施する予定であるため、需要の増加に期待している。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲10%となった。仕入価格が軒並み上昇し収益の確保が困難な状況が続いているため、商品販売価格の値上げを検討している。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>組合が管理する駐車場の売上げは回復傾向であるが、物価上昇による消費活動の停滞により各店の売上げが毎月下がり続けており、前年同月と比べ売上げ▲8%、収益状況▲5%となった。この状況がいつまで続くのか、不安が募るばかりである。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>全国旅行支援の影響により売上げ、客足が増加しているが、食料品や電力・ガスの価格上昇が収益状況を圧迫している。 また、人手不足が業界全体としての課題であり、賃上げにも前向きに取り組む必要があると考えている。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>土木工事関係の警備依頼が増加したものの、夜間工事の減少や工事期間の短縮により前年同月と比べ売上げ▲5%となった。 警備員の高齢化や体調不良による離職者が増加していることから、各組合員は受注量の抑制や有給休暇の取得などにより警備員の労働時間の調整を図っている。人材募集にも力を入れているが、短期アルバイトの応募ばかりで正社員の応募はなく、人手不足が深刻である。 令和5年3月から公共工事の労務単価（公共工事における労働者の賃金単価）が上昇するため、各組合員は受注価格を見直し、警備員の賃金を引き上げることで人材確保に努めていく方針である。</p>
<p>建 設 業 (総 合)</p>	<p>2月の県内公共工事は、前年同月に比べ、件数で15%増加しており、請負金額は67%の増加となっている。2月末累計では件数で3%減少、請負金額でも4%とそれぞれ減少している。</p>
<p>建 設 業 (型 枠)</p>	<p>原材料価格の転嫁が進まず、前年同月と比べ収益状況▲5%となった。 収益の確保が困難な状況が続き物価上昇に対応した賃上げもできず、人材を募集しても低賃金のため応募がない。業界として人手不足が深刻な課題である。</p>
<p>建 設 業 (鉄 構)</p>	<p>電力価格の大幅な値上げを受け、大手ガス会社が2～4月にかけて、産業ガス価格の値上げを相次いで表明しており、収益状況はますます悪化すると考えている。</p>
<p>設 備 工 事 (電 気 工 事)</p>	<p>一般工事の改築・増築の案件が製造業を中心に増加しており、公共工事も1月に引き続き安定した受注量を獲得することができている。</p>
<p>設 備 工 事 (管 設 備)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは29%増加、収益状況は35%好転したが、新年度に向けて管工事資材のさらなる価格上昇が予告されているため、先行きを見通すことは難しい。</p>

<p>運 輸 (タクシー)</p>	<p>2月～3月は、旅行・転勤・就職活動等によって人流が増加する時期であるが、平日の仕事量が少ない状況が続いている。 コロナ規制が緩和され、ゴールデンウィーク後からコロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行するため、外国人も含めさらなる利用者の増加を期待している。</p>
<p>運 輸 (バ ス)</p>	<p>仕事量は回復傾向であるが、人手不足のため対応しきれない状況である。</p>
<p>運 輸 (トラック)</p>	<p>取引先との価格交渉が進んでおらず、燃料価格の上昇分を運賃へ転嫁ができていないため、前年同月と比べ収益状況▲5%となった。仕事量も1月とほぼ変化がない。 年度末の需要増加により、売上げ、収益状況が大きく好転することを期待している。</p>
<p>その他 (介護)</p>	<p>若手の組合員（ヘルパー）の人数は増えているが、全体の人数は増えていない。平均年齢の若返りは行えているが、人手不足は解消されないままである。</p>

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2022年2月	2023年1月	2023年2月	2022年2月	2023年1月	2023年2月	2022年2月	2023年1月	2023年2月
売上高	15	5	▲ 10	▲ 7	▲ 13	10	2	▲ 6	2
収益状況	▲ 35	▲ 15	▲ 25	▲ 27	▲ 3	▲ 13	▲ 30	▲ 8	▲ 18
景況感	▲ 15	▲ 10	▲ 20	▲ 27	0	▲ 7	▲ 22	▲ 4	▲ 12

※((良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

